

牧野(淀川上流)探鳥会 2016年4月度

2016.4.3 第1日曜日)9:00~14:00

日本野鳥の会大阪支部

担当 南 茂夫、高井 常之、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩、平 軍二(☎090-6901-1425)



1. 先月(3月)の探鳥会から 開始直後の穂谷川でオオジュリンをすぐ近くで確認し、普段確認できないヒクイナとクイナのツーショット、しかもヒクイナは近くでもう1羽との鳴きかわしがあり2羽だった。カモ類やアトリ類、ツグミ類等の冬鳥がまだ残っていたほか、ウグイス、ホオジロ、ヒバリ、シジュウカラ、キジバト、モズ、ムクドリ、ハシボソガラス等の留鳥では囀りや造巢、抱卵も確認できた。イカルチドリ、アリスイ、タヒバリ等も出現したことから、トータル53種を観察した。



2. 今月の鳥 クイナ(写真上)・ヒクイナ (写真下)

今月期待しているのは、春の鳥のさえずりやキジの雄叫びであるが、先月探鳥会で珍しいクイナ科の鳥が2種出たので、今月の鳥として紹介します。

ヒクイナは通常夏鳥として日本に渡来し、水辺のアシの茂みなどに隠れて「キョッキョッキョッキョ」と高音で鳴くため、古来、多くの歌に詠まれ、戸を叩くようだと「**水鶏(くいな)叩く**」といわれている。クイナ・ヒクイナとも夏鳥であるが、最近では冬にも姿を見ることは多くなっています。しかし、夏の季語として有名なヒクイナの声「クイナ叩く」を、3月に聞くことができたことは、非常に稀なことではないかと思われる。

← 写真:上 クイナ、下 ヒクイナ(何れも西脇淳浩氏)



160306 今日自転車通過

3. 「トイレ」・「自転車の危険」

牧野探鳥会は他の探鳥地に比べ鳥が多いけれども、「**トイレが無い・自転車が危ない**」の二重苦があり、アキレス腱になっています。探鳥コースでは猛スピードで自転車が通過しており、**自転車にぶつくと怪我をして痛い目に合うのはバードウォッチャーで、保険に入っても痛みは補償されません。**鳥を見ていて「あそこに鳥」の声で道を**左⇄右**に移動することがあるが、常に**前後左右**に目を配り、「**猛スピードで通過する自転車から自分を守る**」ようお願いします。

4. 牧野探鳥コースの樹木伐採

牧野探鳥会はコースに樹林があるため、林の冬鳥が多く、今冬は**12月49種、1月51種、2月50種、3月53種**が観察されています。しかもスタート～フィニッシュまで鳥の切れ間が無いと言う、ぜいたくな探鳥地となっています。探鳥コースは河川敷の**緊急用車道**、樹木が道路に大きく枝を広げている所があり、緊急時にトラック通行の妨げになることが予想され、切ることになったものです。

2015年度中に車道の両サイド5m幅で伐木する予定と聞いていましたが、1年繰り延べとなり、2016年度に伐採されることになりました。どのように木を伐るかについては、4月中旬に淀川河川事務所へ行き、状況をお聞きする予定にしていますので、来月の探鳥会でご報告できると考えています。鳥の面からは木を伐ってほしくないのですが、2013年の洪水時の水面を体験してからは、木を伐ること止むなしとしています。

5. 次回5月1日(日)春を歌う鳥&冬鳥残り福

今回は連休中の5月1日(第1日曜日)の開催です。キジの雄叫び、オオヨシキリ・セッカなど渡来したばかりの夏鳥のさえずり、更に、渡りの途中に立ち寄ったオオルリ・キビタキも期待しています。冬鳥ツグミも残っているかもしれません。

